

学校だより

プラタナス



令和3年3月18日(木)

市川市立市川小学校

No.44 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

卒業生も在校生も「批判的思考」だって大切！



本棚を作ろうと思った時、必要な道具や材料、工具の使い方などの知識は不可欠です。でも、何のために使い、どんな本棚にするか明確なイメージがないと行動を起こすことができません。また、どんな素材や工具を使い、どんな手順で作りたいかという思考力もなくてはなりません。私たちが「考える力」を育むには、「知識」と「思考力」の両方が必要だといえるわけです。この「思考」に関して、3つの方法が言われています。

1つは「論理的思考（ロジカル・シンキング）」です。つまり、道理や道筋に則って考えることで結論を導き、複雑な物事をわかりやすく説明する力と言い換えることができます。「演繹法」や「帰納法」は特に有名です。

2つめは「戦略的思考」です。主にビジネスの場で使用されますが、ある目標を達成するために、物事を整理し知恵を絞って解決策を探る思考方法といえます。

3つめは「批判的思考（クリティカル・シンキング）」といわれるものです。単に物事を批判することではなく、目の前の事象を鵜呑みにしないで「本当に〇〇は～なのだろうか」と疑問を投げかけて、客観的に判断することが求められます。

例えば、夕食を急いで作りたいけれど、買い置きの食材が少ないケースを考えてみます。一般的には、「すぐ買い物に行けば食材が揃えられる」⇒「買い物に出かける」という行動をとります。筋道の通った解決策です。ここで、「少ない材料や乾物などを工夫して使えば、おいしいものが作れるのではないだろうか」とか「急いでいるのに買い物に時間をかけたくないし、新しい食材を買うために出費する必要があるのだろうか」と疑問を投げかけるのが批判的思考のスタートといえます。結局、「やっぱり買い物には行かず、家にある物で料理するとしよう」となる場合もあります。思考過程において、論理的思考に客観性を組み合わせた批判的思考を行うことで、よりよい解決策を導き出すこともできるのです。

日本人は、この3つめの「批判的思考」が弱いといわれることがあります。様々なメディアを通してありとあらゆる情報を得ることができる現代、見聞きする情報が必ずしも正しいもの、よいものばかりとはいえません。与えられた情報をなんでも無批判に受け入れるのではなく、腑に落ちないあるいは疑問点があるようであれば、自分が納得するまで調べてみることです。そうすることの積み重ねで、自ずと批判的思考力が鍛えられるはずです。

ほかの人と話し合ったり、協力して何かを行ったりする場面でも、批判的思考は重要です。自分の意見ばかり主張せず、人との調和を重んじることは日本人の美德といえますが、多数決や一般論ばかりでは馴れ合いが助長されます。納得いかない場合には、勇気をもって発言することで、問題解決の糸口が見つかるかもしれません。ぜひ、3つの思考方法を組み合わせて考える力を伸ばしていきたいと思います。

卒業式を明日に控え、寂しさが込みあげてきます。羽ばたけ 6年生！共に頑張ろう 在校生！



卒業生へ、そしてバトンを受け継ぐ在校生へ

以前、漆職人の仕事ぶりを紹介する番組を見ていました。よい漆を作るための血のにじむような努力に感銘を受けました。漆は酸やアルカリに強く、「一度固まった漆を溶かす方法はない」と言われているそうです。この漆の力を活かし、日本では大昔から天然コーティング塗料として、装身具や食器などに使われてきました。今では、漆塗りのスケートボードも出回っています。

それ以上に、漆の樹液を集めることを最初に思いついた人、それを器などに塗ることを試した人がいたことに驚きを隠せません。

物事には「最初・始まり」があるということを改めて思います。その最初の人になるには勇気がいります。覚悟が必要です。でも、そうしたことに挑戦できる人でありたいと願います。今あることをより高めることも大事ですが、「はじめの一步」あって次があるのだと思います。以前、国語科6年の教科書に杉みき子さんの『加代の四季』という作品があったことを思い出します。

“加代は、ふしぎでたまらない。あんなに、つもってはきえ、つもってはきえしているのに、
どうして、いつのまに、ふんでもとけないあつい雪の道ができあがるんだろう。
土にとりついて、とけないで、上からおちてくるなかまをささえた、
そのさいしょのひとつぶの雪を、加代は見たい。”

あとから最初の一粒になること、それを土台に積み上げていくこと、頑張っしてほしいのです。

話はガラッと変わりますが、電車の中吊りに人参生産者の広告がありました。

“にんじん嫌いな皆さま ごめんなさい

日本有数の生産地 だから皆さんを苦しめているのは私たちかも

とはいえ 栄養たっぷりなので、時々食べてみてください

日本を元気に、健康に！ 千葉県富里市”



「人参は栄養がたっぷりおいしいから、たくさん食べましょう」と書くより、「ごめんなさい」と謝ってしまう潔さが、逆にインパクトがあって目に焼き付きます。コピーライターの仕事ですが、発想が柔軟であることが大事なことを改めて考えさせられます。

さらに、先日亡くなった絵本作家の安野光雅氏が小学校教員だったころ、「アリを校舎の高いところから落とすと死んでしまうだろうか」と尋ねて、子供と実験したそうです。結果、アリがどこに落ちたかわからなくなったと。ユーモアと好奇心、行動力は大人になっても忘れたくありません。



『加代の四季』にはこんな一節もあります。「春はせんろからやってくる…」と。皆さんの春はどこからやってくるのでしょうか。春、新しいスタートにエールをおくります。

■■■令和3年度の見通しの一部■■■

○始業式	4月7日(水)放送	※現時点での予定です。変更もありますので、あくまでも参考にとどめてください。
○入学式	4月8日(木) <u>二部制</u>	※学校HPにて詳細連絡
○運動会	5月22日(土)午前中開催	
○相撲・陸上大会	令和3年度は「中止」	
○5年生宿泊学習	ホワイトスクールの見直し	
○合同学習発表会(北部)	11月17日(水) or 18日(木)	



★転退職員は、3/25(木)児童登校後にメールをお送りするとともに、おたよりでお知らせします。